

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	今年度は運営推進会議の開催が2回であった。	2ヶ月に1回の開催。	あらかじめ議題を多数用意する必要がある。	12ヶ月
2	10(6)	毎月、入居者の状況をご家族に手紙でお伝えしている。	ホーム便り(広報のような形)にする。	写真、連絡事項、コメント等を掲載する。 アンケート等も同封。	2ヶ月
3	20(8)	ご家族やご友人の面会がなかったり、遠隔地の為になじみの場に行くことが困難な状況にあったとしても、回想法等により記憶での繋がりが途切れないよう支援している。	遠隔地であっても、なじみの人間関係・場、との実際の関係を断ち切らない支援を実施したい。	ご家族に協力いただき、出来る限りなじみの方や、場を知り得て支援に繋げる。	3ヶ月
4	35(13)	年2回の消防訓練を行っている。	避難訓練だけでなく、実際に災害が起こった後の事も考える。	近隣住民への協力要請、非常時用品の備蓄。	1ヶ月
5	36(14)	人格の尊重、適切な言葉かけを行っている。	更にく尊厳>の重要性を考え、マニュアルを作成する。	文書によるマニュアルの作成、職員全員の周知。	2ヶ月
6	49(18)	散歩、買い物、ドライブ、花見、その他個別の外出支援を行っている。	更にく個別>に焦点を当て、対応し、より生き生きとした生活意欲を保って頂きたい。	個別にニーズを引き出し、出来る限り対応する。	2ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。